

あだち

広報

第1483号



11月1日号

NOVEMBER
平成18年

ズームアップ No.32



この項に掲載されました。
記事は次のページにあります。

【憩い時間】さいとうかこみ

特集 秋・暮らしにうるおいを ~文化芸術を楽しむ~

観る聴く

体験する

地域の輪

支える

東京藝術大学千住キャンパス オープン記念対談 [宮田藝大学長 × 鈴木区長]

区民協力員が行く! / 夢・人・倶楽部 [透真かずきさん (宝塚歌劇団・雪組)] / 写真で見る日暮里・舎人線

7月14日にスタートした「足立区安全安心パトロール隊」。これは、「見せる防犯活動」として効果がある青色回転灯装備車両(通称・青パト)を区が用意し、身近に発生する犯罪を抑止しようとするものです。今回、実際にこの制度を利用し、防犯活動に役立てている六木三丁目町会の皆さんを取材しました。

—青パトを始めたいきっかけは？

この地域は、駐車場が多く、車上荒らしや引ったくりなどに悩まされていたので、2年ほど前から町会で当番を決め、徒歩による巡回、防犯活動に努めてきました。青パトは、目立つので効果的にパトロールができるし、また、活動を続けることで地域の人の関心も高まるのではないかと思います。

—パトロールの効果は？

隊員服(ベスト・帽子)とパトロール実施者証を着用し、隊員手帳を携帯した隊員4人が午後5時過ぎには集合し、青パトに乗車します。青色回転灯を点灯し、防犯・防火の呼びかけをしながら、細い道まで、ゆっくりと一回に30分くらいかけ、2度ほど巡回します。始めたころは「うるさい」などの苦情もありましたが、近ごろは「ご苦労さま」と声を掛けてくれる人もいます。町内に防犯の意識が浸透し、高まってきていると感じています。

◆足立区安全安心パトロール隊(六木三丁目町会)

自分たちのまちは
自分たちで守る

区民協力員
が行く!



星野雅夫町会長④
と隊員の皆さん⑤



—これからの課題は？

まだ始まったばかりの制度で、貸し出し車両も少なく、今後、利用が各地で広がっていったとき、借りるのが難しくなってしまうのではと心配しています。

また、現在、防犯・防火活動は町会が主体となっていて行っていますが、町会のメンバーだけで活動を続けていくことは、なかなか容易ではありません。「自分のまちは自分で守る」という意識を持ち、町会だけに限らず、もっと幅広く、多くの人に活動に参加して欲しいですね。

地域の安全のために努力されています。こうした地域のために尽力する皆さんの姿に大変敬服いたしました。

(区民協力員・森岡正臣)

といます。この辺が改善されるともっと気軽に制度を利用しやすくなるのではと感じました。町会の皆さんは、それぞれ仕事をもち、忙しい中をやり繰りして

青パトを利用する際、皆さん最大の悩みは、当初、想定していなかった道路使用許可(所轄の警察署)などの事務手続きの煩雑さ、それに取られる時間の多さだ